



D-ILA Projector DLA-Z1

ソフトウェアバージョン v2.00 取扱説明書

ソフトウェアバージョンv2.00により、下記機能が追加となります。
本取扱説明をご参照の上、ご使用下さい。

1. オートトーンマッピング機能
2. パナソニックUHD-BDプレイヤー専用カラープロファイル

1. オートトーンマッピング機能

Auto Tone Mapping

コンテンツのグレーディングは作品によりさまざまで、明るく調整されたコンテンツもあれば、暗く調整されたコンテンツも存在します。「Auto Tone Mapping」機能により、HDR10 コンテンツに含まれるマスタリング情報 (Max CLL/Max FALL) を元に、自動で最適な明るさにガンマ調整を行います。また、「調整レベル」でベースの明るさを設定することにより、スクリーンサイズや環境に合わせた最適な画質で楽しむことができます。

※ コンテンツや、プレーヤーによっては「Auto Tone Mapping」がお使いいただけない場合があります。



Auto Tone Mapping 「オフ」



Auto Tone Mapping 「オン」

※ 写真はイメージです。



Auto Tone Mapping を設定する

1 [GAMMA SETTINGS]ボタンを押して、ガンマメニューを表示する



2 「Auto Tone Mapping」を「オン」に設定する

- ・「Auto Tone Mapping」メニューは HDR 再生時に「ガンマ」を「HDR(ST.2084)」に設定するか、ガンマの「補正值」を「HDR(ST.2084)」に設定した場合に表示されます。
- ・プレイヤーやコンテンツによっては、表示されない場合があります。
- ・「Auto Tone Mapping」が「オン」のときにも、各パラメーターは調整可能ですが、保存されません。よりきめ細かく調整する場合には、「Auto Tone Mapping」を「オフ」に設定してマニュアルで設定してください。

3 「調整レベル」でベースの明るさを設定する

- ・「Auto Tone Mapping」の設定は、全暗かつ100 インチ、ゲイン1 のスクリーンを基準に設定しています。
- ・お客様の環境で明るさが不足している場合にはプラス方向へ、明るすぎる場合にはマイナス方向へ調整してください。

2. パナソニックUHD-BDプレイヤー専用カラープロファイル

パナソニックUHD-BDプレーヤー DP-UB9000 用映像モードの設定手順

DP-UB9000 のHDRディスプレイタイプに合わせた専用のカラープロファイルと組み合わせることで、より階調の精度が増し、滑らかかつ立体感ある HDR 映像をお楽しみいただけます。

Step1:

DP-UB9000 のHDRディスプレイタイプ設定画面から、「高輝度のプロジェクター」または「ベーシックな輝度のプロジェクター」を選びます。

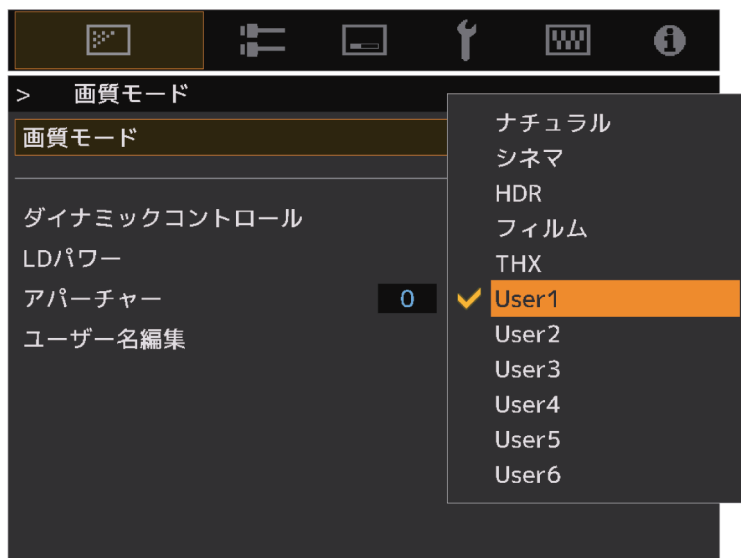
Step2:

DP-UB9000 で、HDR トーンマップを「オン」に設定します。

Step3:

プロジェクターの「画質モード」を下記のように設定します。

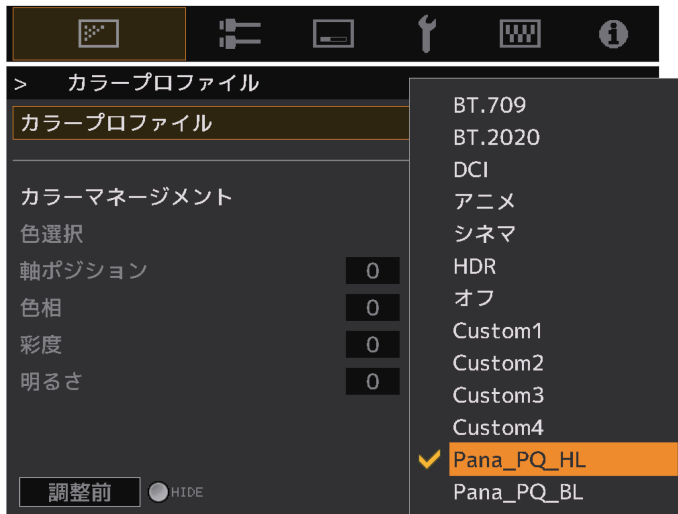
1 「画質モード」を「User 1」～「User 6」のいずれかに設定する



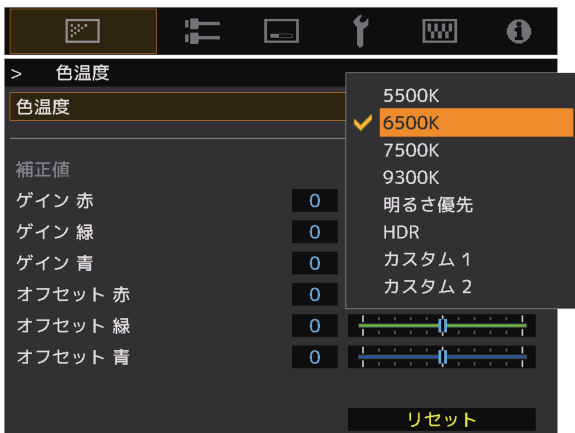
2 DP-UB9000で設定したHDRディスプレイタイプに合わせて「カラープロファイル」を設定する

DP-UB9000 の HDR ディスプレイタイプ	プロジェクターのカラープロファイル	映像への効果
高輝度のプロジェクター	Pana_PQ_HL	明るさを重視した設定で、ビデオコンテンツやピーク感のある映画などに最適です。
ベーシックな輝度のプロジェクター	Pana_PQ_BL	色再現性を重視した設定で、HDR ならではの広色域をお楽しみいただけます。

※ 本カラープロファイルは、「画質モード」を「User1」-「User6」設定時に選択可能です。



3 「色温度」を「6500K」、「ガンマ」を「2.2」に設定する



MEMO

従来は、HDR10の信号を認識すると自動的に画質モード「HDR」に切り替わっていましたが、本ファームウェアアップデートにより、HDR10コンテンツの視聴時に設定した画質モードがラストメモリーされます。お客様お好みの画質モードでHDR10コンテンツをご視聴いただくことが可能です。